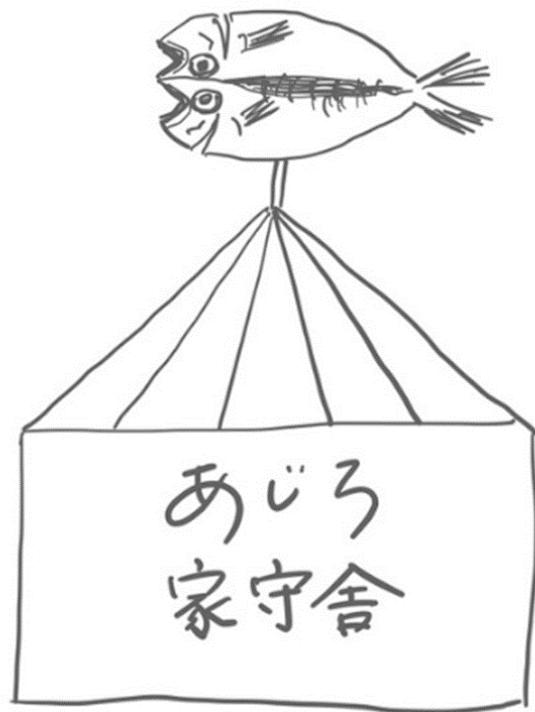


# あじろ家守舎



わたしたちは、南熱海のコンテンツを活用し魅力向上と地域活性化に寄与し、  
住んで・来て良かったと思ってもらえる街をつくるための団体です。

# 一般社団法人 あじろ家守舎

私たちが住む街(網代・南熱海)の10年・20年の明るい未来を作るために「一般社団法人あじろ家守舎(やもりしゃ)」を設立。地域内外の多種多様なメンバで構成しています

Uターン



代表理事 山崎明洋。網代生まれ網代育ち。網代が好き。生まれ育った網代の魅力を伝える。BRIGHTWESTERN/プロモーション・ marketer



副理事 渡辺淳司。網代生まれ網代育ち。消防設備業の(株)ウェックス代表取締役。地元の消防団にも所属し、地域防災を推進



本村天。アウトドア好き。東京から通いながら東京の視点で南熱海の魅力を発掘中。日本台湾連携支援のTGVESTキャピタル(株)代表取締役

Uターン

住  
移



監事 林晋也。魚と海が好き。新聞記者から漁師への転身を機に南熱海に移住。時々猟師。海と山の幸の魅力を伝えたい。網代漁業(株)取締役



理事 中屋香織。自然&家が好き。2017年に川崎市から南熱海に移住。南熱海ライフと一緒に楽しむ仲間を増やしたいAtami Stayle代表



理事 板橋真。山が好き。2019年東京から南熱海に移住。VCやコンサルを経て、事業開発・人材支援のアイティビジネスサロン(株)設立、代表取締役

移住

地元/地域中心で仕事

首都圏中心で仕事

# 設立の背景／私たちの実現したい世界

高齢化の進む街(網代・南熱海)の生産年齢人口を増やすべく、働きたくなるような魅力的な産業・事業の創出を、また住んで訪れて楽しいと思える街づくりを目指します

## 網代の人口推移予測

網代は、2030年には高齢化率約57%、2040年には60%近い数値になる予測、20年後は現役世代※1人で1.5人の高齢者を支えることとなる。小学校廃校で生産年齢人口・年少人口の流出はさらに加速(※現役世代は15歳~で算出)

## 都市経営・生活・産業(仕事)の課題と要因

都市・産業・生活の課題に共通している事は、稼ぐ世代(生産年齢人口)が減少していること。魅力的な産業がない(仕事)、子育てし辛い・楽しみ少ない(生活)、訪れる・関われるきっかけがない(認知・関わり)事で流出が増加

## あじろ家守舎の使命(ミッション)・実現したい世界(ビジョン)

### ▶使命(ミッション)

- 働きたくなるような魅力的な産業・事業の創出により雇用を増やす
- 安心して楽しく暮らせる、住んで良かった、住みたいと思える街をつくる
- 街の魅力の発信により関わる人を増やし、街のファンを増やす

### ▶実現したい世界(ビジョン)

- 地域内に住む人、地域外より訪れる人すべてが、網代の価値を感じ、網代の街が「ファン」であふれる

# 事業計画の概要

事業のテーマは『防災』。あじろ家守舎は「地域内外の人達の交流および人と事業のマッチングを促進し、まちを活性化」すべく、網代小を事業創出拠点として活用・展開します

【テーマ】	【事業名】	【協業先】	【行政が求める要件】
防災	<b>1</b> <u>伝統の魚・水産関連事業の再活性化</u> ①網代の地域企業の事業及び販促支援 ②網代で穫れた魚を活かした新商品開発	・水野商店(鯉節) ・西島木工所(木工) ・熱海未来広場 ・網代漁業(漁業)	※新商品開発 【自立性】
	<b>2</b> <u>森林や自然を感じる体験事業の造成</u> ③林業、漁業、猟師等の地域の仕事体験 ④ハイキングやキャンプ等の自然教育、および文化・アート体験	・熱海キコリーズ(林業) ・山の恵(猟)・網代漁業(漁業) ・アメリカ山ガ-デンac(保育事業) ・ヤマップ(登山・自然教育)	※保育事業 【政策連携】 ※体験事業 【地域連携】 ※テレワーク・ワーク事業 【デジタル】
	<b>3</b> <u>地域課題を解決する新規事業の創造</u> ⑤空き家や廃校を題材にしたスタディ・ツアー ⑥産学官連携で避難場所・防災計画アップデート	・リディラバ(課題解決ツアー) ・日本大学危機管理学部 ・ドローソファント 及びバンチャー企業 ・熱海市役所(行政)	※防災拠点 【官民連携】 ※サライトワイス 【デジタル】

⇒『防災』に関連する(食品・自然・教育・Tech等)企業・大学と網代小で協業予定

# 事業の展開プロセス

2022年度より社会実験スタート。まずは南熱海やあじろ家守舎の活動を広く発信して認知拡大に努め、2023年度以降より開始するテナント・コワーキング入居者を集客します

ステップ1: 認知の拡大・集客  
(2022年～2023年前半)

南熱海やあじろ家守舎、廃校利活用等の活動を発信し、網代小で展開するオフィステナント・コワーキング拠点への誘致・集客

- 林業、漁業、漁師等の地域仕事体験  
└ 地域資源を活用し都会では体験できない一次産業の仕事体験をして貰う
- ハイキング・キャンプ等自然教育、アート体験  
└ 自然や森林を活かした体験型アクティビティを創出し、南熱海ファンを作る
- 空き家・廃校を題材にしたステイ・ツアー  
└ 地域課題を題材にしたステイ・ツアーで興味・関心のある企業や個人を集客する
- 保育留学  
└ 親が安心して子供を預けながらワーク拠点で仕事をしつつ、子供達には自然教育やキャンプ体験をして貰う

ステップ2: 廃校活用で事業創出  
(2023年～2024年前半)

オフィステナント・コワーキング拠点に地域の既存事業の活性化、新たな産業・事業の創出、またそれによる雇用の創出

- 地域企業の事業及び販促支援  
└ 地元企業と域内外の人・企業をマッチングし事業の再活性化につなげる
- 網代で穫れた魚で食の新商品開発  
└ 域外からの消費を獲得する新商品の開発(例: 防災缶詰・魚肉プロテインバー)  
└ 耕作放棄地で農業を興し新商品やサービスの開発(農泊、農園×移住等)
- 産学官連携で防災拠点のアップデート  
└ 南海トラフ地震や土砂災害等のリスクに、熱海市や日本大学危機管理学部、遭難を防ぐベンチャー企業やマップやドローンベンチャー等と連携し、防災軸で課題解決や事業創造、雇用促進につなげる

ステップ3: 付帯事業への拡大  
(2024年～2025年前半)

廃校活用で事業や雇用が創出された事による地域のインフラ事業および付帯事業の整備

- 空き家活用で住居・宿泊・飲食店整備  
└ 廃校活用のオフィステナント・コワーキング事業で働く人に必要となる施設や飲食店、住居を整備する  
└ 移住に関心を持った人へのサポートをする(移住や家探しのプロセスに伴走するAtami Stayleや地域の不動産会社)